



くすもと こうへい
楠元航平さん

長崎市
年齢 32歳

農作物 **いちご 28a**

Q1 新規就農に至るまで(経緯・背景)

長崎市出身の非農家。長崎工業高校を卒業して、トヨタに就職した。リーマンショックの時に農業が話題になっていて、自分も農業をやろうと帰省した。島原に住む同級生の家でいちご栽培を体験し、いちごでの就農を決心した。

技術習得支援研修(平成26年1期生)を受講し、諫早で高設栽培、長崎で地床栽培の農家研修を受けた。

平成28年6月 長崎市の認定新規就農者の認定を受ける。

Q2 経営の推移と今後

	経営初期(1~2年目)	現在(就農6年目)	今後の目標(2年後)
品目 面積	いちご 土耕7.6a 単収2万パック/10a	いちご 高設28a 単収2.3万パック/10a	いちご 面積は現状維持 目標単収2.5万パック/10a
経営 内容	長崎で いちご(土耕) APハウス 作業舎、予冷庫、 軽トラックを整備	琴海で いちご(高設) 農協リースハウス (低コスト耐候性ハウス) 環境制御装置付	環境制御技術の習得 による単収向上 将来的にはいちごの 加工販売までしたい

これから就農する方へのメッセージ

農地の確保に苦労したので、研修期間中から積極的に情報収集に努めた方が良い。自分は最初、長崎で中古ハウスを賃借して就農したが、農地がなく規模拡大が無理であったので、琴海に移転して農協リースハウスを活用して規模拡大を図った。

単収にこだわるのではなく、費用対効果などの経営面の検討も重要である。作業効率や時給計算などの考え方も大切である。

栽培技術については、優良農家に会いに行き直接話を聞くのが良い。

Message



こんどうせいいちろう
近藤成一郎さん

佐世保市
 年齢 28歳

農作物 **アスチルベ、千日紅**

Q1 新規就農に至るまで(経緯・背景)

叔父が農業者で、身近で農業に触れ合う機会があり、自分も農業を行いたくなったのがきっかけ。ただ、農業は初めてで農業に関する知識も乏しかったため、長崎県新規就農相談センターで研修を受けることにしました。

研修を終えた後は、JAアスチルベ部会に所属し、農地などは部会員が借りていた農地を譲っていただき、施設・設備などがすでにある状態であったため、初期投資を抑えることができました。そのため、資金などはほとんど借りていません。

Q2 経営の推移と今後

	経営初期(1~2年目)	現在(就農4年目)	今後の目標(2年後)
品目 面積	アスチルベ、ひまわり 10a	アスチルベ、千日紅 20a	アスチルベ、千日紅 20a
経営 内容	収量 2万本 (アスチルベ) 売上 200万円	収量 6万本 (アスチルベ) 売上 500万円	目標収量 10万本 (アスチルベ) 目標売上 1,000万円

これから就農する方へのメッセージ

農業で生活していくぞ、という強い気持ちと、飛び込む勇気が必要。中途半端な気持ちではやる気も出ず、経営が厳しくなっていくと思います。また、人との繋がりが大切。農業は1人でできると思うかもしれないけど、横との繋がりがあのおかげで解決、回避できたことが沢山あります。皆さんも人との繋がりを大切にしてください。

Message